みんなで実践！鳥獣を寄せ付けない４つのポイント

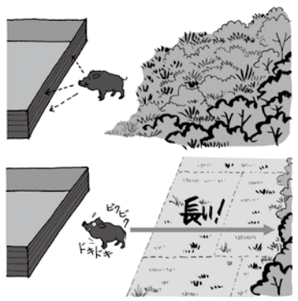
鳥獣による農作物などに対する被害が町内でも発生しており、一人一人の対策が重要になっています。対策は、まず身の回りを点検し、ヤブの刈り払い、追い払い、収穫残渣や生ゴミの撤去などを行いましょう。また、被害が進行した場合には、柵を設けたり、捕獲したりすることが、重要な対策です。

ポイントその１　近づけさせない！

田畑近くのヤブは、野生鳥獣の格好の潜む場となります。また見かけてもそのままにしておくと、どんどん人慣れが進みます。地域ぐるみで潜み場の解消や追い払いを行い、野生鳥獣を近づけさせない環境をつくって生きましょう。

潜み場をなくす

家や田畑のまわりのヤブは、鳥獣にとって格好の潜み場や田畑への進入路となっています。ヤブを刈り払い、見通しの良い場所に変えていきましょう。



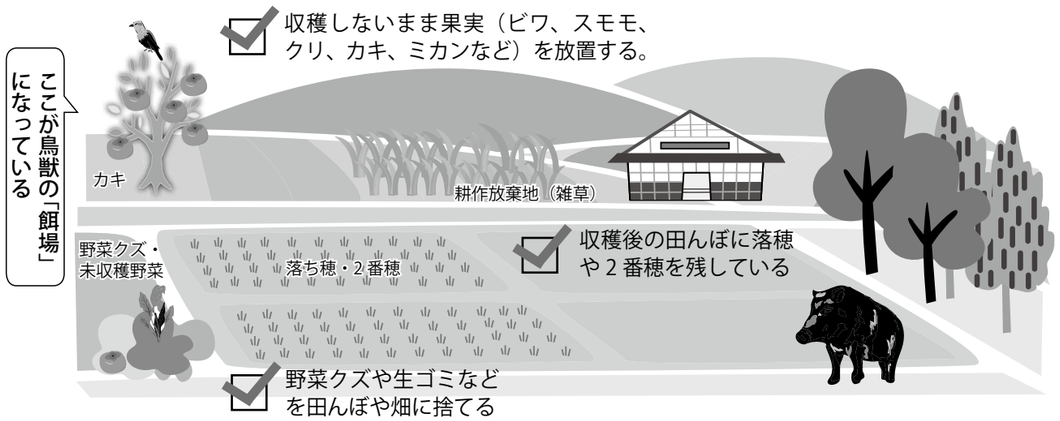
追い払う

農作物の生育期や収穫期だけでなく、見かけたら年中追い払いましょう。「人間は怖い！危険だ！」と学習させることが必要です。

※ただし、大型獣には近づかないでください。

ポイントその２　「餌場」をなくそう！

農作物はもちろんのこと、身の回りの思わぬものが野生鳥獣を引き寄せる餌となります。野生鳥獣にそこが餌場だと学習させないように、田畑や家のまわりの環境を改善させていきましょう。



ポイントその３　囲いで守る！

身近にある自家用菜園など小規模な田畑を守るのに欠かせないのが柵です。柵にはネット柵、電気柵、金属フェンスなどいくつかの種類があります。それぞれの特徴を把握し、獣種や現場にあわせたものを設置しましょう。

ネット柵

●安価で設置が容易。
●防除効果がやや劣る。

・強度が弱いため、設置後の管理が必要となる
・ステンレス線の編み込まれていない網は、噛み切られることがある。

コスト
100 ～ 300 円 /m

電気柵

●安価で設置が容易。
●高い防除効果がある。

・漏電防止の草刈り、電圧チェックなどの設置後の管理が必要となる。
・獣種ごとに、電線の高さや間隔を考慮する必要がある。

コスト
300 ～ 500 円 /m

ポイントその４　捕獲する！

被害が減らない場合には、捕獲を行います。効果的な捕獲とは、被害を引き起こしている個体を狙うことです。ただし、捕獲には免許が必要です。免許を取得し、積極的に捕獲に取り組みましょう。

※有害鳥獣のイノシシを「箱わな」などで捕獲するには、わな免許を取得し、猟友会へ加入する必要があります。

山の 10 頭　＜（より）　里の 1 頭を

山奥の鳥獣の捕獲数を上げるより、田畑の食べ物に依存する鳥獣を狙うほうが、被害は減少します。

被害対策に適する資材

農作物被害のための捕獲は里の加害個体を捕獲しなければならないので、銃やくくりわなは向きません。これらの手法は誤射があったり、手負いの個体を出しやすいためです。

箱わな・囲いわな ≫ くくりわな ≫ 銃

問農林水産課☎ 76-8302

小木港イカ釣り船団応援プロジェクト

全国からの力強い応援 支援品を贈呈

町長から支援品が山下久弥運営委員長に手渡された

応援が形に。町のブランド米「能登姫」とスルメイカの梱包箱

中型イカ釣り船の主要な漁場となっている、能登半島の沖合約３００㌔の大和堆で近年外国籍の違法操業が活発化しており、操業が妨害され漁獲量の減少が続いています。

苦境に立つイカ釣り船団を応援するため、県漁協小木支所で５月16日、「小木港イカ釣り船団応援プロジェクト」による支援品の贈呈式が行われました。

このプロジェクトは町がふるさと納税を活用して全国から寄附金を募り、イカ釣り船団を応援する支援品を贈る取り組みです。今年２月から４月末までの募集期間に目標額５００万円を上回る計５０４万５０００円が集まり、返礼品用の金額などを差し引いた３３８万７０００円を使って支援。

この日は、乗組員の食料となる町のブランド米「能登姫」を含む米１２００㌔と船上でのスルメイカの梱包箱７５００箱、１５０万円分が贈られました。

贈呈式では持木町長が多額の寄附に感謝したうえで「これからも町はイカ釣り船団をバックアップして守りたい」と述べ、山下運営委員長が「全国の皆様の応援が励みになる。昨年以上の漁を目指して船団一同頑張ります」と意気込みを語りました。

出港に備える船団

ふるさと能登町応援寄附（ふるさと納税）

活気あるまちづくりへ 能登町ファンに感謝

町への応援ありがとうございます

平成 29 年度は、9,617 件、186,396,299 円となる多額の応援をいただきました。全国の 9,617 人という大勢の方が、能登町を応援してくださっています。

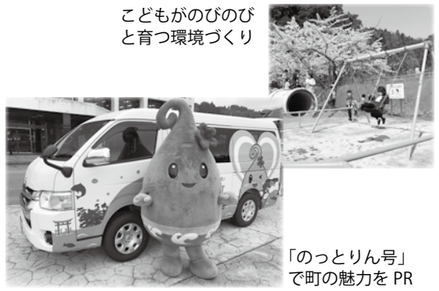
町民のみなさんから町出身者や町と縁がある親類・ご友人などへ積極的にお声をかけていただいた結果でもあります。平成 30 年度もみなさんの「ふるさと能登町」の応援をよろしくお願いします。

平成 29 年度のご寄附の活用策について

活力ある住みよいふるさとづくりを推進し、地域の魅力向上を図り、人口減少対策の総合的な推進に資するため「ふるさと振興基金」を設立し、平成 29 年度には下記の施策に有効活用させていただきました。

平成 29 年度の活用推進事業

事業の種類（基金条例）	平成 29 年度の主な活用事業
地場産業の育成事業	創業・継承支援助成金
観光・地域振興事業	観光振興対策事業（のっとりん号など）
移住・定住促進対策事業	ふるさと定住住宅助成金
子育て・社会福祉活動事業	公立認定こども園運営費
教育水準の向上事業	小学校教育振興費（児童用 PC など）
スポーツ・地域文化活動事業	猿鬼歩こう走ろう健康大会の開催や地域文化遺産の活用事業
防災・防犯対策事業	防災備蓄品の整備



こどもがのびのびと育つ環境づくり

「のっとりん号」で町の魅力を PR

寄附のお申し込み方法

町では引き続き支援を受け付けています。インターネットから手軽にお申し込みいただけます。

インターネットからのお申込み、お手続きは「ふるさとチョイス」内の能登町ページまたは町ホームページをご覧ください。インターネット以外でのお手続きについては、ふるさと振興課までお問い合わせください。

ふるさとチョイス
→ https://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/17463

町ホームページ
→ http://www.town.noto.lg.jp/

問ふるさと振興課☎ 62-8533

納税返礼品を募集中！自慢の商品でふるさと納税を拡大しましょう

能登町では平成 27 年 4 月から、ふるさと納税をされた方への返礼品について、寄附者自身がふるさと納税専用サイト〈ふるさとチョイス〉またはカタログで返礼品を選ぶことができるようにしています。

この返礼品を取扱う事業者を随時追加募集しています。町と一緒にふるさと納税事業を盛り上げていきましょう。

○主な業務
・町（中間業者）からの発注で特産品を寄附者に送付する。
・送付実績を報告し、代金を請求する。

○メリット
・町ホームページやふるさと納税に関するサイトなどに商品の画像と名前、取扱い事業者名などが掲載されます。
・特産品の発送時にパンフレットなどを同封していただくことで企業のＰＲが可能です。

○応募資格
・町内で製造、加工、販売、採取、栽培等が行われている商品を取扱っており、寄附者に発送できる業者
・町内で旅行、宿泊できるプランを取り扱っており、寄附者に提供できる事業者
・町税に滞納がないこと
※町内に本社、または主たる事業所（工場等を含む）を有する法人または個人事業者に限ります。また、町が返礼品として適当でないと認めた場合は、参加できないことがあります。

問い合わせ・応募先　ふるさと振興課☎ 62-8533

のと里山空港　6月のイベント

「のっぴーのホタル狩り」

■ 3 日㊐　憧れの旧車、名車、スポーツカーが今年も「のと里山空港」にやってくる
懐かしの車やバイクから最新のスポーツカーまで 100 台以上が大集合！ガレージセールや飲食ブースなどなどお楽しみに。
時間　10:00 ～ 13:00　　**場所**　のと里山空港　道の駅

■ 10 日㊐　のっぴーグラスづくり
6 月のデザイン：「のっぴーホタル狩り」
時間　10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 15:00
場所　空港 1 階　能登の旅情報センター
※一家族 1 個程度、限定 50 個。参加料無料

■ 24 日㊐　おらが故郷お国自慢ー七尾市ー
外雷太鼓（そでいかづちだいこ）による太鼓の演奏
時間　15:00 ～　　**場所**　空港 2 階ロビー

☆ **7 月のイベント予告**☆
みんなの「のと里山空港」開港 15 周年記念イベント
記念講演会開催！静かな旅客機の実現を目指す JAXA の「フクロウプロジェクト」の取り組みや成果を紹介します。

・**講演会日時**　8 日㊐ 13:30 ～ 15:00　　・**場所**　空港 4 階
・**講師**　山本一臣
（JAXA 航空技術部門 FQUROH プロジェクトマネージャー）
※講演会は混雑が予想されます。「のと里山空港賑わい創出実行委員会（☎ 0768-26-2303）」への事前申し込みで座席が確保可。（6 月末まで）

日時　7 月 7 日㊏、8 日㊐　9:00 ～ 16:30
場所　のと里山空港
※その他のイベント内容は順次「のと里山空港」HP やチラシでご案内します。